

令和 2 年度 第 3 回理事会議事録

開催日：令和 2 年 9 月 12 日（土）

時間：10：00～12：20

場所：Zoom を併用した Web 会議

出席：真田、松田、佐藤、池本、澁谷、狩野、大崎、住ノ江、安部、藤原、藤田、
湊、森、菊口、矢野、南、中町参与、東塚監事、笠舞監事

欠席者：綿貫、竹川、井関、千田

理事 16 名の出席により会議は有効裡に開催された（現在の理事数 20 名）。

なお、開催前に出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることを確認している。

議事録署名人の選出：真田浩一、東塚監事を選出した。

議事録作成：南

I. 会長報告（報告者：真田会長）

【報告事項】

1. 日臨技近畿支部関連

特になし

2. 兵臨技関連

- 1) 8 月 18 日（火）令和 2 年度兵庫県・阪神地域合同防災訓練 会場の下見出席
- 2) 8 月 23 日（日）第 10 回西播地区研修会（Web）出席
- 3) 9 月 3 日（木）各種友好団体との政策要望に係る意見交換会出席
- 4) 9 月 3 日（木）学術部会議（Web）出席
- 5) 9 月 5 日（土）広報部会議 出席
- 6) 9 月 5 日（土）糖尿病療養指導士兵庫県連合会 2020 年度第 2 回理事会出席
- 7) 9 月 6 日（日）新型コロナウイルスの検査に関する PCR 実技研修会出席
- 8) 9 月 9 日（水）令和 2 年度第 2 回兵庫県合同輸血療法委員会（Web）出席
- 9) その他：Zoom 正規版について 10 月 1 日より使用開始予定

【審議事項】

1. 公益財団法人兵庫県健康財団からの依頼について

結核征圧のための複十字シール運動についてのお願いと、がん征圧のための寄付金募集についての依頼あり。

9 月定期発送で会員へ知らせる。

→承認

日臨技報告（報告者：綿貫副会長）

【報告事項】

1. 学術支援事業、年内休止としていましたが、政府が公表する「新しい生活様式」の趣旨を遵守し「日臨技感染拡大予防ガイドライン」に沿って開催可能な場合は、年内休止の限りではないとして、会員向けに発信した。長野、京都は Web 研修会を開催し例年どおりの開催としている。
2. 日臨技が開催する研修会・講習会を Web で開催のためのシステム改修を進める。
3. 現在は Web 研修を受講した場合、レポート提出としているが、受講の履歴を確認することができれば、レポートを省略する方向で検討する。
4. 検体採取の講習会を再開、11月7、8日東京で開催予定、今後開催する会場に合わせ開催する予定。
5. 第69回全国学会、9月5日～6日会場参加者500名弱、一般演題745演題から423演題（会場での発表63名）企業展示64社から25社、527小間から73小間、共催セミナー22企画から7企画となりました。10月より Web 公開予定。

【審議事項】

なし

II. 部局報告と審議

<事務局>（報告者：南事務局長）

【報告事項】

1. 「臨床検査技師への業務の移管や共同化に係る意識調査」の説明会への出席
→真田会長出席（8/12Web参加）
→アンケート最終集計数3,207件
2. 理事会、各種研修会に Web で開催するためのツールである Zoom 有料版を購入
→8/20よりトライアル版で使用開始
3. 新型コロナウイルス感染症軽症者等の宿泊療養施設として東横 INN 神戸三ノ宮駅市役所前の利用について
4. 日臨技からの会費の送金について→78,000円入金確認
5. 日臨技より、自治体行政事務部門における臨床検査技師配置の経緯等の調査について→真田会長より日臨技に報告
6. 兵庫県医務課による「新型コロナ 現場の皆さんとの意見交換会」の開催について
→真田会長出席予定（10/2）
7. 自由民主党兵庫県連による「令和3年度兵庫県予算編成に対する要望に係る

意見交換会」の開催について

→真田会長、佐藤副会長出席（9/3）

8. 日臨技より令和2年度永年職務精励者の誤抽出についてのお詫び
9. 令和2年度兵庫県公衆衛生協会団体会費の納入について→5,000円納入予定
10. 日臨技より、新入会員の推移等に関する調査結果の報告
11. 日臨技より、臨床検査技師に対する特殊勤務手当の増額支給の調査について
12. 令和2年度兵庫県公衆衛生協会会長表彰（公衆衛生功労）受賞決定
→芳賀 由美会員（県立姫路循環器病センター）

【審議事項】

1. 日本赤十字社の活動資金へのご協力について
 - ・昨年度は見送り
 - 今年度も見送る
2. 令和2年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰候補者の推薦について
 - ・平成24年に当会を推薦後は受賞なし
 - 事務局および関連部署で推薦者を調整する
3. 公益財団法人結核予防会より結核研究奨励賞候補者の推薦について
→推薦者を微生物研究班で調査する
4. 令和2年度輸血医療従事者研修会の後援依頼について
→承認

<総務部>（報告者：池本総務部長）

【報告事項】

1. 会員数（月末集計）

	会員数	会員数内訳			年会費入金内訳		
		継続	新規	兵臨技のみ	入金済 (うち送金待)	免除	未入金
令和元年度	2296						
R2年6月	2329	2208	116	179	2249 (8)	19	56
R2年7月	2337	2205	132	178	2261 (4)	22	54
R2年8月	2339	2198	141	175	2284 (1)	23	32

	施設数			会員数		
	R2年6月	R2年7月	R2年8月	R2年6月	R2年7月	R2年8月
神戸地区	128	128	128	913	918	915 ↓

阪神地区	63	64	64	481	483	483
丹担地区	14	14	14	97	98	98
東播地区	50	50	50	434	436	437 ↑
西播地区	45	45	45	387	390	391 ↑
その他				12	12	15 ↑
合計	300	301	301	2324	2337	2339 ↑

【審議事項】

1. 入会、退会

- 1) 賛助会員入会：なし
- 2) 会員入会：6月20名、7月15名、8月9名
 会員退会：6月3名、7月3名、8月7名
 →承認

<経理部>（報告者：竹川経理部長）

【報告事項】

1. 予算管理月報について 8月末日
2. G表について 8月末日
3. 広告状況について 8月末日

【審議事項】

1. 資料作成費、講師料支払いについて
 支払金の手渡しが不可能な場合、振り込みで対応したい。
 口座番号を教えてもらえない場合は、所属先への現金書留で対応したい（自宅は不可）。
 →承認
 ※領収書については振込明細書で代用する。可能な限り振込対応が望ましい。

<渉外部>（報告者：安部渉外部長）

【報告事項】

1. 医療職団体 メディカルスタッフセミナーの開催について
 神戸医療産業都市推進機構の前原様より
 1) イベントラリーについて
 参加者がより多くのコンテンツを視聴するための工夫として、複数種類のイベントに参加することでプレゼント応募が出来る形とする。各団体の動画を1つのコンテンツとするのか、MSセミナーとして1つとするのか、あるいは神戸市・機構のイベントとして1つとするのかは未定。決まり次

第、共有とのこと。現時点での作業や準備は不要。

2) 全体スケジュールについて（対象部分のみ抜粋）

9月30日：制作コンテンツ、サムネイルの提出

10月中旬：Web サイト完成予定

10月23日：Web サイト最終確認終了

10月31日：一般公開 10時～公開

3) ★確認事項

① 作コンテンツ（動画データ）、サムネイルのご提出 ※9月30日締切
→真田会長より 9/9 に臨床検査技師の紹介ビデオとサムネイルを提出
済み

② 10/31以降、一般公開の Web サイトに継続して掲載しないものについて
は、事前の連絡が必要。その場合は、18時をもって非表示にする予定

2. 兵庫県・阪神地域合同防災訓練（9/20）

担当会場：尼崎市立中央中学校

1) 避難所訓練に係る JMAT 関連機関打ち合わせ会（9/7）

尼崎市災害対策課より今年の訓練内容の変更連絡

訓練縮小並びに7市1町各3名の行政職員（災害対応未経験）に災害対応
の初歩を経験し課題提起を各市町に持ち帰ってもらうことを主とする。

→これにより亜急性期以降の訓練は簡素化され、fullPPE 対応や検査隔離
ブース等はなし。臨床検査技師会としての避難所活動の場も失った。

2) 医師会から、合同指揮本部の活動を地域災害医療コーディネーターと共に
してみないかと提案があり、対応予定。

指揮本部地域災害医療コーディネーター：尼崎市医師会長を予定。

本部要員（Logistics）として臨床検査技師会より2名参加予定（地域密着
を考慮して阪神地域の会員を優先）→1名は湊理事で、もう1～2名は、
会長のほうで調整する。

本部：避難所以外に救護所、福祉避難所等網羅する形で対応

【審議事項】

なし

<組織部>（報告者：大崎組織部長）

【報告事項】

1. 令和2年度 第11回西播地区研修会（中止）

令和2年6月28日（日）13:30～16:50

事業計画案，決算書

2. 令和2年度 第1回西播地区 地区会議

令和2年8月5日（水）18：30～20：30
会議録・決算書（資料07-03）

【審議事項】

1. 令和2年度 第1回 東播地区ナイトセミナー
10月23日（金）18：30～19：30
事業計画案（資料07-04）
 - ・Zoomを使用してWeb会議で行う。JAMT 事前登録で対応。チャットで所属・会員番号・氏名を入力してもらい参加確認をし、レポート提出で生涯教育の点数を付与する方向で考えている。
→承認

<広報部>（報告者：住ノ江広報部長）

【報告事項】

1. ホームページ（HP）への新規および更新掲載。
 - 1) 技師会関係
 - ①検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の受講受付開始について（案内）
 - ②会員数・施設数（7/31 現在）
 - ③兵庫県地図
 - ④令和2年度 兵臨技 新型コロナウイルスの検査に関する PCR 実技研修会について（緊急連絡・ご案内）
 - ⑤令和2年度 兵臨技 一般検査研修会（ジュニアコース第1回）について（変更のお知らせ）
 - ⑥令和2年度 兵臨技 第10回西播地区研修会 Web 開催への変更について（お知らせ）
 - ⑦令和2年度 兵臨技 細胞検査定期講習会（細胞診ジュニアコース）訂正について（案内）
 - ⑧令和2年度 兵臨技 合同研修会「新人でも押さえておきたい！臨床検査の基礎技術」について（予定変更のお知らせ）
 - ⑨令和2・3年度 役員名簿・組織構成
 - 2) 関係団体
 - ①令和2年度 公衆衛生協会中央研究会中止について（お知らせ）
2. 編集委員会（住ノ江、小松、鳥居、新田） 2020年9月5日
3. 新HP説明会 2020年9月6日（理事）、2020年9月13日（班長）
4. HP移行・作成会議（作成時間は省略）Zoom会議 住ノ江、新田、渡邊
2020年9月5日 20：00～22：00、9月10日 21：30～22：30 他

5. HP 移行作業（対ネットコモンズ） 9月9日（水）9:00～17:00 新田
（他の日程は多いため、省略）
移行のドメイン移行作業、プロバイダ（インターネット環境）と、Web サーバ（Web アリーナ）作業、設定作業など

【審議事項】

1. 広報誌 HYOGO ニュースの発行について
コベルコより従来の 8 ページ編成で 55,000 円が 110,000 円に値上がり。
今年度は行事も少ないため、合併号で対応する。
来年度からは、コベルコの提示金額が妥当か、他社の見積りと合わせて検討を行う。
→承認
2. 行事予定表について（持ち越し議題）
行事予定表は、前の理事会をうけて従来通り今年度は発行を行う。次の 10 月 11 月合併号は、研修会の未定が多く発行が難しいことを了承頂きたい。
来年度以降は、HP で印刷できる形と、希望される会員のみ発行し送付する案で検討する。
・紙面を発行しないとなれば広告料を再考する必要がある。（松田副会長）
→HP 上にバナー広告を出すなど、新しい形での契約を考えていく。
→承認
3. 携帯型 Wi-Fi の購入のご検討について
HP の作成や管理に、Web 会議でのやりとりやインターネット環境での作業が多い。情報センター長の意見（職場に Wi-Fi 環境がない）もあり、情報センターとして 1 台購入を検討して欲しい。
次会までの数社で見積りを取る。（約月 3,000～5,000 円程度）
→承認

<学術部>（報告者：藤原学術部長）

【報告事項】

1. 第 4 回 学術部会（Web 形式）を開催した
 - 1) 9/3 18:30～20:00
8 月の研修会開催時に起こった問題点や今後の研修会開催準備について話し合いを行った（動画の動き確認やトラブル対応について）。
今年開催の研修会については、基本的に無償で行い日臨技推進事業として登録を行うことで参加者×500 円と事業推進費 30,000 円をもらい経費を補填するように伝達を行った。
また、今年度中に各研究班で 1 例は研修会を開催していただくようお願い

いをした。

2. 『核酸増幅検査（PCR 等）基礎研修（Web）研修』の受講修了者を対象とした実地研修を開催した。

- 1) 9/6 10:00～17:00 2回開催で遺伝子検査基礎実技研修会を開催
9時から準備をおこない兵庫県技師会研修センターで開催

【審議事項】

1. 遺伝子検査基礎実技研修会の第2回開催について。日臨技推進事業に登録できない現状で兵庫県からの助成がどの程度出るのか未定のため、開催をすべきかどうかについて
 - ・ 試薬代 40 万円（3 回分くらい）＋前準備と後片づけの手間が大きい。
 - ・ 兵庫県としては現在のところ予算組みは難しい。自民党県議団との意見交換会で費用負担の協力を訴えているところである。（真田会長）
 - ・ 社会的にも遺伝子検査にニーズがあるので費用がかかっても積極的に進めるべきである。（中町参与・松田副会長）→10・11月に第2回開催を検討することで承認
2. 各研究班の運用方法について、行事予定登録と開催案内の流れをテスト的に行いたい（YouTubeでの動画配信・期間限定など）。
テスト的に様々な方法で研修会を開催することについて、理事会承認を得ない状態で実施して良いか。
 - ・ 個人情報取扱いに十分注意して行えば良いと思う。（中町参与）
 - ・ 日臨技が Web で開催するためのシステム改修を進めるとのことだが、それも検討するのか。（佐藤副会長）→Zoomを基本的に使用するが、日臨技のツールがどんなものか確認して、動画がスムーズに流せるものを検討する。

<精度管理事業部>（報告者：狩野精度管理事業部長）

【報告事項】

1. 令和2年度（第40回）兵臨技精度管理調査について
 - 1) 9月7日現在申し込み施設数：140施設、2重の申込が6施設、削除依頼
 - 2) 実施の変更点
病理：フォトサーベイを紙面配布から Web に変更、解析集用の印刷（従来は紙面配布と同時に印刷していた）は他の研究班と同様に行うことで研究班と合意した。すでに7月に紙面配布でコベルコ社と進めていたため、費用は2万円発生済。コベルコ社には運用変更の連絡は完了した。
 - 3) 改善サポート方法
 - ①速報公開：正答および化学項目の目標値は精度管理事業部長が Web に掲

載、同時に参加施設にメールで掲載したことを知らせる。

②C 評価全施設に改善サポートを実施（フォトサーベイの総合評価の場合は総合評価で改善サポート）

③各研究班担当者が分野単位で下記の資料を施設にメールにて連絡する。
メール定例文+「実施状況調査及び改善報告書」+「調査結果及び改善の
お願い」

④施設から各研究班に返送された「実施状況調査及び改善報告書」に、各
研究班でコメントを記載後、施設に返送する。

⑤試料の再送付は事前に施設に連絡の上実施する。

化学のドライケム等については検討中の課題はいくつかありますが、決まり
次第報告します。

→今年からサポートも行う。プール血清の目標値を使う。（中町参与）

2. 令和元年度（第39回）兵臨技精度管理調査の報告
添付資料参照（資料 10-03）

【審議事項】

1. 精度管理のホームページについて

ホームページ記載の文面を精度管理実施案内文からの抜粋を中心とした記載
に変更する。

→承認

<公益事業部>（報告者：澁谷公益事業部長）

【報告事項】

1. 検査と健康展（神戸常盤大学『TOKIWA 健康フェスタ』）について
開催中止を決定。日臨技に連絡済み。

2. 健康福祉まつり について

兵庫県健康福祉部から「ふれあいフェスティバル in 阪神北における健康福祉
まつり」の開催中止通知があった。（中止決定）



【審議事項】

なし

●次回理事会

第4回理事会 令和2年10月10日（土）10：00～

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人が署名捺印する。

議長	<u>真田 浩一</u>	
議事録署名人	<u>東塚 伸一</u>	

令和2年度 第3回理事会 資料

資料 07-03

令和2年度 部会・班会議 開催報告書

会議名	令和2年度第1回西播地区 地区会議		
日時	令和2年8月5日(水)18:30～20:30		
場所	太子町立 あすかホール 2F 会議室		
出席者	姫路医療センター、赤穂市民病院、兵庫県臨床検査研究所、姫路聖マリア病院、姫路循環器病センター、公立神崎総合病院、ツカザキ病院、ツカザキ記念病院、姫路中央病院、公立宍粟総合病院、小国病院、姫路赤十字病院(計12施設18名)		
欠席者			
議長	菊口	書記	佐竹

議事録(記載はサマリー形式で簡条書きとする)

【報告事項】

1. 理事会報告について

- ・兵臨技：8月から会議・研修会を再開。(十分な感染対策を実施)
- ・兵庫県医学検査学会→今年度中止
- ・日臨技近畿支部医学検査学会→今年度中止(来年度→福井県、再来年度→兵庫県)
再来年度の開催は姫路のコンペションセンター予定だが、会場の変更の可能性あり。

会長報告

- ・新型コロナウイルスに関するPCR講習会(実技)について
- ・技師会として、Web会議ソフト(Zoom)を購入予定

2. 西播地区役員について

- ・役員(令和2年度～) ☆新役員
地区理事： ☆菊口圭介(姫路中央病院)
地区委員： 藤田宜子(兵庫県臨床検査研究所)
佐竹郁哉(姫路赤十字病院)
☆土手綾子(姫路聖マリア病院)
☆青木里奈(姫路循環器病センター)
- 地区連絡員： 坂本慎一(赤穂中央病院)
竹内一馬(公立宍粟総合病院)
☆住ノ江功夫(姫路赤十字病院) 広報部長兼務
- 広報委員： 森川貴道(兵庫県臨床検査研究所)
・退任
- 地区理事： 住ノ江功夫(姫路赤十字病院)
- 地区委員： 前田麻子(にしはら乳腺クリニック)
四ツ谷拓歩(姫路循環器病センター)
- 地区連絡員： 衣笠愛二(姫路市医師会)

【審議事項】

1. 今後の研修会について

- ①令和2年度 第10回西播地区研修会(災害について)→8月23日(日)予定
→現状、最大限感染対策に注意を払い開催予定であるが、兵庫県下で緊急事態宣言など発令されれば中止せざるを得ない。
- ②令和2年度 第11回西播地区研修会(がんゲノム医療について)→未定
→日臨技の認定委員会が関連しているため、開催の可否不明
- ③来年度の第38回西播地区研究発表会・第10回医療公開講座について
・日程：令和3年7月25日(日) 中ホール
・当番病院：赤穂中央病院・小国病院
※現時点ではコロナ感染対策のため...(コロナによる規制が緩和したら解除の可能性あり)

- ・定員は最大収容人数の半分である 150名（スタッフも含む）である
- ・施設利用者全員（一般の方も）の氏名、連絡先の把握のため名簿を作成する必要あり。
- ・対面での食事は禁止。全員前方を向いての食事は可能。

◎会場について

- ・中ホールのみであれば、人数制限のため午前・午後共に、事前登録制にする必要あり
 - ・中ホール→大ホールへ変更：定員は400名だが会場費が約3倍になる。
- 現在の感染状況を考えると、市民対象の医療公開講座の開催は厳しい。
会場予約のキャンセルに関しては、予約後一ヶ月。現行通り開催予定で、開催日が近づいた段階で感染状況など考慮し、現況通り開催・WEBにて開催・中止を再度判断。

報告年月日 :令和2年8月19日

報告者・役氏名:

組織部 菊口 圭介

令和2年度 事業計画(案)

令和2年9月7日

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会
会 長 真田 浩一 様

担当役職名:組織部理事(東播地区)

担当者氏名:森 雅彦

下記のとおり令和元年度事業計画案を提出いたします。

記

令和2年度 第1回 東播地区ナイトセミナー

日 時	令和2年10月23日(金) 18時30分～19時30分
場 所	WEB
内 容	講演 「新型コロナウイルスについて(仮)」 所属:(株)シスメックス 大阪支店学術サポート課 講師:坂井 礼 先生

事業報告書	
事業部局・責任者	精度管理事業部長 佐藤伊都子
事業名	第39回精度管理調査会
企画担当者	佐藤伊都子、内川昭文
運営責任者	佐藤伊都子
開催日時	令和元年 11月
開催場所	各参加施設(137施設)
内容 プログラム テーマ 講師	6月20日 精度管理調査の概要案内(HYOGOニュース・ホームページ)
	7月20日 精度管理調査の詳細案内(定期発送・ホームページ)
	8月1日 参加申込み開始(JAMTQC)
	9月13日 参加申込み締め切り(JAMTQC)
	11月4日 試料発送準備(神戸大学付属病院検査室)、試料発送
	11月5日 回答開始(JAMTQC)
	11月15日 回答締め切り(JAMTQC)
	10月29日 令和元年度第1回第標準化協議会開催(兵庫県医師会合同)
	12月3日 回答速報ホームページ掲載
	12月中下旬から サポート開始(電話連絡、状況確認報告書送付、試料再送付等)
	1月末 近畿地区医師会の共同利用施設連絡協議会にて精度管理の講演
	1月末 解析締め切り
	3月1日 施設別報告書公開
3月4日 解析集、参加証発送	
中止 3月14日 精度管理調査検討会(県医師会館)	
参加者数	137施設
実務委員	精度管理事業部、精度管理委員、解析委員 合計57名
運営状況・感想 意見	<p>参加コースを細分化したことで参加施設数は増加し、血液像フォトサーベイ(40%減)、尿沈渣フォトサーベイ(25%減)は減少したが、HbA1c、血液ガス、免疫血清は若干上昇した。病理細胞診フォトサーベイは、移行検討として従来のように編集を加えたコベルコ印刷物も配布し、Webには無編集写真を載せた。</p> <p>試料配送は、昨年同様佐川急便に依頼した。当日13時半未到着15施設について佐川急便より連絡を受け7施設へ遅延を電話連絡した。全施設配送完了報告は当日16時だった。</p> <p>令和元年度第1回 県医師会標準化協議会において、精度管理報告会参加者への解析集配布は中止し、当日講演資料のみ配布する事となった。そのため、解析集印刷部数は合計300部から180部(医師会分30部)に減り、経費は医師会と折半した。</p> <p>また、サポート方法については次年度より一本化することが標準化協議会で協議され、技師会理事会で承認された。令和元年度の標準化協議会通知文発送は40施設で回収率は70%だった。技師会サポートは69項目でサポート終了は65%と前年度(81%)より大きく下がった。サポートの有用性、C評価施設が多い事、経年的にC評価となる施設が存在する事等、精度管理調査を解析し、今後どのようにサポートしていくか学術班を交え十分議論する必要がある。</p>
報告年月日	令和2年3月31日
	精度管理事業部長 佐藤伊都子